

《アクションプラン項目》

(テーマ)

インバウンド対策

[対外的な情報発信]

No.36、41

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
36	○	管理担当	○
		飼育担当	

■ 計画内容

多言語に対応したホームページを整備します

■ 達成目標

外国語による情報発信を可能とするホームページの作成

■ アクションプラン評価指標

ホームページの多言語化

■ 評価理由

日本語のみのホームページから英語、中国語、韓国語を追加している

■ 評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

・4か国語に対応したホームページとなっている。

【評価理由の詳細】

・海外のお客様への情報提供の基本ツールは海外言語のホームページとなる。

・H28年までのHPでは、ホームページ上には、外国語版パンフレットが掲載されていたのみであり、そのほかの情報発信はできていなかった。

・H29年3月のホームページのリニューアルに合わせて、英語・中国語・韓国語のページを作成し公開した。外国語版のHPでは、動物園に関する基本情報の提供を行っている。（イベント情報などタイムリーな情報は含まれていない。）

・多言語ホームページの情報更新が課題であり、R1年度からは継続的に更新するため、外部委託を開始した。

■ 今後の取組方針

【総括】

・引き続き、外国人にもわかりやすいホームページの運用を行っていく。

【計画内容】 ①現在の計画を継承し、取り組みを継続する

【達成目標】 ①現在の目標を継承し、取り組みを継続する

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
41	○	管理担当	○
		飼育担当	

■ 計画内容

外国人対応の観光ツアー会社や宿泊施設との連携を進めます

■ 達成目標

当園のチラシ、リーフレット、情報誌の配架可能施設の拡大

■ アクションプラン評価指標

園のチラシ、リーフレット等の配架施設数

■ 評価理由

本園のチラシ、リーフレット等を配架してくれる施設は着実に増加している

■ 評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

・配架施設は一定数まで増えており、今後は維持・拡充の検討が必要

【評価理由の詳細】

・観光客へ本園をアピールするため、宿泊施設等にチラシ等を配架することは効果的である。

・近隣の宿泊施設や商業施設等に配架依頼をしており、H28年度の41か所から、R 1 年 8 月現在では77か所の施設等での配架が実現している。

・H30年6月から、近隣の宿泊施設との連携により、宿泊券と入園券とがバックになった前売り券を販売している。

・観光ツアー会社との連携については、大手旅行代理店への営業を行ったが、動物園単体での連携は難しいとのことであった。

【リーフレット配架状況】①宿泊施設②本市施設③商業施設等④駅（一部施設にはTogetherも配架）

H28年度 41か所 ①25 ②12 ③ 2 ④2

H29年度 55か所 ①38 ②12 ③ 3 ④2

H30年度 73か所 ①48 ②16 ③ 7 ④2

R 1 年度 77か所 ①48 ②15 ③12 ④2

【その他連携事例】

・H30年6か月から、バリタワホテル及び和空ホテルにおいて、宿泊券と入園券がバックになった前売り券を販売開始

■ 今後の取組方針

【総括】

・ホームページで配架施設の募集を行うとともに、配架施設については協賛企業としてPRすることで、現行の配架施設数の水準を維持し、持続可能な取組みとしていく。

【計画内容】 ①現在の計画を継承し、取り組みを継続する

【達成目標】 ②下記のとおり、内容を一部修正のうえ、取り組みを継続する

配架施設数の水準を維持し、持続可能な取組みとしていく

《アクションプラン項目》

(テーマ)

ボランティア・寄付営業

[市民との連携]

No.7、43、44、45、46、47

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
7	△	管理担当	○
		飼育担当	○

■ 計画内容

ボランティア活動を支援します

■ 達成目標

ボランティア活動支援の枠組み構築

■ アクションプラン評価指標

動物園ボランティアの活動実績

■ 評価理由

・動物園ボランティアの活動回数は、大阪動物園ボランティアズ（OZV）は横ばい、zoo friendsは増加しているものの、全体として登録者数は横ばい状態で伸び悩んでおり、ボランティア活動支援の枠組みの構築までは至っていない。

■ 評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

・ボランティア活動が頭打ちとなっており、引き続き支援が必要。

【評価理由の詳細】

・①OZV、②天王寺動物園zoo friends、③天王寺公園花みどりボランティアクラブなどが、動物園で定期的に活動している。

・①OZVについては、昭和51年に設置された動物解説ボランティアで、第1～4日曜日（年明け、お盆は除く）に園内で動物解説を行っている。現在のメンバー数は6名。

（活動実績） H28年度 年間46回 H30年度 年間46回

・②天王寺動物園zoo friendsについては、動物園100周年を契機に設立されたボランティアで、様々なテーマを企画し実施している。（例：園内清掃、工作イベントなど）

（活動実績） H28年度 メンバー16人 年間10回 H30年度 メンバー16人 年間23回

・③天王寺公園花みどりボランティアクラブについては、動物園内及び天王寺公園内において花木や花壇の維持管理や清掃除草等、緑化普及啓発に関する活動を実施している。

（活動実績） メンバー12人で毎年15回程度の活動を行っている。

・このほか、ZOO人（ズーット）による絵本読み聞かせボランティアを年24回程度実施している。

■ 今後の取組方針

【総括】

・独法化も視野に入れつつ、ボランティア活動支援の体制構築を進める。

【計画内容】 ①現在の計画を継承し、取り組みを継続する

【達成目標】 ①現在の目標を継承し、取り組みを継続する

動物園で活動する動物解説等のボランティアの例（天王寺動物園調べ）

東京動物園ボランティアーズ

昭和49(1974)年設立の動物園ボランティアグループ。都立の上野動物園、多摩動物公園、井の頭文化園で活動。動物解説を行うドーナツ・グループ(DG)、園内を巡回して施設案内等をするサービスガイド・グループ(SG)に分かれている。活動人数：731人(平成27年3月現在)。

参照HP：<http://www.tzv.jp/zoo-volunteer/index.html>

東山動物園ガイドボランティア

平成4(1992)年設立のボランティアグループ。6班体制で、主に土日祝にスポットガイド、ツアーガイドなどを実施。活動人数は約60～70名程度。園がボランティアに対して実施する研修も充実。

参照HP：<http://www.higashiyama.city.nagoya.jp/news/2020/02/post-366.html>

NPO法人東山動物園くらぶ

平成19(2007)年度に(社)名古屋青年会議所主催の東山こどもガイド事業を契機として設立された団体。こどもガイドのほか、公開セミナー、東山動物園検定等を実施。活動人数：70～80人程度。

参照HP：<https://www.higashiyama-zc.org/>

京都市動物園ボランティアーズ

昭和56(1981)年設立の動物園ボランティアグループ。主に土日祝での「おとぎの国」でのふれあい活動支援、おとぎの国での動物ガイド等を実施。活動人数：約50名。

参照HP：<https://www5.city.kyoto.jp/zoo/support/volunteer>

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
43	△	管理担当	○
		飼育担当	

■ 計画内容

「私たちの動物園」と思っていたいただけるような参加意識を高めます

■ 達成目標

寄付・ボランティアに関心を持つ市民・来園者の増加

■ アクションプラン評価指標

寄付増のための広報活動の実績、ボランティア登録者数

■ 評価理由

ホームページや広報誌「together」で応援団、寄付を募集している
ボランティア登録者数も横ばいで伸び悩んでいる

■ 評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

・ホームページや広報誌「together」などで、応援団、ふるさと納税を募集しているが、媒体数を増やす必要がある。

【評価理由の詳細】

・大阪市立の動物園として、市民に「私たちの動物園」と思ってもらうことが重要。これを測る指標としてはボランティア活動と、寄付が挙げられる。

・ボランティア活動については伸び悩んでいる状況（項目 7 参照）。寄付については一時伸びたもののその後は減少傾向である。（項目 4 4 - 4 6 参照）

■ 今後の取組方針

【総括】

独法化も視野に入れつつ、ボランティア活動支援の体制構築を進める。

寄付については、より一層の周知に取り組むとともに、将来的には寄付が動物園の収入として動物の環境改善などにすぐに使える仕組みの構築を目指す。

【計画内容】 ①現在の計画を継承し、取り組みを継続する

【達成目標】 ①現在の目標を継承し、取り組みを継続する

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
44	○	管理担当	○
		飼育担当	

■計画内容

物品の寄付など様々な提案を引き受ける窓口を創設します

■達成目標

P Rを図り、H30には寄付金額を1.5倍に増加

■アクションプラン評価指標

遺贈を除く寄付の実績

■評価理由

現金の寄付の受け入れがH27年度に比べて1.5～3.2倍に増加

■評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

- ・寄付金額は増加しているが、さらなるP Rが必要
- ・寄付による動物の飼育環境の改善などの成果を挙げて、それを周知していくことが課題

【評価理由の詳細】

【現金寄付受入実績】（ふるさと寄附金、ライオン募金、現金収受の合算）

※不特定多数の方が募金箱にお金を入れるライオン募金は件数に含めず

【H27】 33件：2,084千円

【H28】 33件：146,376千円（※左記うち2件、144,665千円が遺贈によるもの）

【H29】 31件：3,173千円

【H30】 39件：6,771千円

【R1】 51件：3,843千円（12月末現在）

【物品の寄付の実績】

【H27】 16件：423,407千円【うち約4億1,500万円は、てんしばの公園施設】

【H28】 24件：4,924千円

【H29】 10件：3,262千円

【H30】 10件：21,672千円

【R1】 5件：355千円（12月末現在）【例：フードプロセッサー、スタンプ台など】

【遺贈の実績】

- ・H28～R1の間に、2件144,665千円の遺贈を受けた。
- ・遺族のご意向を踏まえ、遺贈の一部をジャガーの導入費や獣舎改修の経費に充てた。
⇒ジャガー輸送費・ジャガー舎床暖房工事。床暖房工事は入札不調のため次年度に向けて調整中

■今後の取組方針

【総括】

- ・寄付制度の周知については、これまでもホームページや広報誌「together」に掲載してきたが、スタッフブログへの掲載などより多くの人に認識してもらえるよう、PR方法について検討するとともに、寄付の用途について、わかりやすくタイムリーな周知を行っていく必要がある。

【計画内容】 ②下記のとおり、内容を一部修正のうえ、取り組みを継続する

寄付のP Rを強化して寄付を増やす

【達成目標】 ②下記のとおり、内容を一部修正のうえ、取り組みを継続する

P R方法を増やすとともに、寄付の用途の周知を行う

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
45	○	管理担当	○
		飼育担当	

■ 計画内容

ふるさと寄付金制度を通じた動物園への支援について、広報 P R を積極的に展開します

■ 達成目標

P R を図り、H29にはふるさと寄附金の寄付金額を1.5倍に増加

■ アクションプラン評価指標

寄付額、件数の実績

■ 評価理由

H29には達成できなかったが、H30、R1ともに達成目標の1.5倍を達成

■ 評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

- ・大阪市へのふるさと寄付金制度は動物園への寄付も含まれている。
- ・寄付制度の P R については、これまでもホームページや広報誌「together」に掲載してきた。
- ・寄付による動物の飼育環境の改善などの成果を挙げて、それを周知していくことが課題

【評価理由の詳細】

・ふるさと寄付金の受け入れ実績は、H27年度からH30年度にかけて 3 0 件前後と横ばい、金額では約100万円～約260万円と年によって幅があるという状況。

【ふるさと寄付金受入実績】

【H27】 31件：1,474千円

【H28】 27件：1,063千円

【H29】 26件：1,765千円

【H30】 34件：2,602千円

【R 1】 47件：2,558千円（12月末現在）

■ 今後の取組方針

【総 括】

寄付制度の P R については、これまでもホームページや広報誌「together」に掲載してきたが、スタッフブログへの掲載などより多くの人に認知していただけるようなPR方法について検討するとともに、寄付の使途についてもわかりやすくタイムリーな周知を行う。

【計画内容】 ①現在の計画を継承し、取り組みを継続する

【達成目標】 ②下記のとおり、内容を一部修正のうえ、取り組みを継続する

P R 方法を増やすとともに、寄付の使途の周知を行う

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
46	○	管理担当	○
		飼育担当	

■ 計画内容

市民サポーターの制度について整理・見直しを行い、より安定的に市民からの動物園支援活動を構成できる仕組みを構築します

■ 達成目標

サポーターであることを魅力に思ってもらえる新しい制度を構築する

■ アクションプラン評価指標

新サポーター制度（プチ応援団等）の運営実績

■ 評価理由

H29から新たなサポーター制度としてプチ応援団を導入している。

■ 評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

- ・市民サポーターの制度について見直しを行い、H29年度から現在の制度で運用しているが、さらなるPRが必要。
- ・寄付による動物の飼育環境の改善などの成果を挙げて、それを周知していくことが課題

【評価理由の詳細】

- ・H28年度までは、一口5,000円の寄付により会員証（有効期間（1年）内10回入園可）、記念品（入会時ポストカード、10回目缶バッジ）、サポーターズデイご招待の特典を受けることができる市民サポーターの制度を運用していた。
- ・H29年度からは、一口1万円の寄付により年間パスポートとバックヤードツアー等の特典を受けることができる「応援団」のほか、少額の寄付の仕組みとして「プチ応援団」という仕組みを導入した。一口500円の寄付によりオリジナル缶バッジをお渡しする仕組みで、毎月オリジナル缶バッジを制作することにより継続的な寄付をいただく仕組み。
- ・プチ応援団は、H29年度実績は約6500口であったが、H30年度は約6000口と減少傾向にある。
- ・応援団については、H29年度で243人（大人228人子供15人）の寄付があったが、H30年度は207人（大人204人子供3人）とこちらも減少傾向にある。

■ 今後の取組方針

【総括】

- ・応援団のPRについては、これまでもホームページへのアップや園内掲示を実施しているが、スタッフブログやSNSへの掲載等より多くの方々に認知していただけるよう、PR方法について検討する。
- 寄付金の具体的な用途をタイムリーかつ明確に周知する。（動物福祉の向上に資するような成果）

【計画内容】 ② 下記のとおり、内容を一部修正のうえ、取り組みを継続する

応援団制度を通じた動物園への支援について、広報PRを積極的に展開する。

【達成目標】 ② 下記のとおり、内容を一部修正のうえ、取り組みを継続する

PR方法を増やすとともに、寄付の用途の周知を行う。

応援団募集ポスター



てんのうじどうぶつえん 応援団 募集中！

動物たちがいきいきと楽しく暮らせる環境づくりのために、皆さまの応援をお待ちしています。



いただいたお金で購入したオマケで遊ぶホッキョクグマのイモちゃん

応援団

おとな 一口 10,000円
中学生以下 一口 8,800円

特典：年間パスポート進呈
バックヤードツアー
オリジナル缶バッジ進呈
売店物販 5%割引 など

プチ応援団

一口 500円

特典：オリジナル缶バッジ進呈

☆毎月4種類
コンプリートすると
プレゼントがあるよ！

応援団、プチ応援団のお申込みは
天王寺動物園の名ゲートまで

ふるさと寄附金「動物園の充実」

税制上の優遇を受けられます
クレジットカード決済やコンビニ決済なども
使えてお手軽です！

制度の詳細、お申込みはホームページから →



その他

物品による寄附や遺贈も受け入れています。
問合せ先
06-6771-8401



オリジナル缶バッジイメージ

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
47	×	管理担当	○
		飼育担当	

■ 計画内容

個人に対して寄付を募る新たな方法を模索します

■ 達成目標

クラウドファンディングの実施

■ アクションプラン評価指標

クラウドファンディングの実施状況

■ 評価理由

システムの調整段階にまで進んだが、実施には至らなかった。

■ 評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

・システムの調整段階にまで進んだが実施には至らなかった。

【評価理由の詳細】

・個人の寄付を募る新たな方法として、クラウドファンディングの実施について検討を行ったが、調整がつかず実現することができなかった。

■ 今後の取組方針

【総括】

・引き続き、老朽化した獣舎の修繕など、成果がわかりやすいものに対するクラウドファンディングの実施手法を検討していく。

【計画内容】 ①現在の計画を継承し、取り組みを継続する

【達成目標】 ①現在の目標を継承し、取り組みを継続する

《アクションプラン項目》

(テーマ)

ボランティア・寄付営業

[企業との連携]

No.48、49、50、51

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
48	○	管理担当	
		飼育担当	

■ 計画内容

企業からの寄付や協働事業に係る窓口を設け、協力協働を積極的に推進します

■ 達成目標

新規協働事業の開拓

■ アクションプラン評価指標

企業からの寄付や協働事業の実績

■ 評価理由

R1年度より、民間事業者との間で新しい協働体制を構築した。
企業からの寄付については、企業応援団として制度運営している。

■ 評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

・協働事業として園内飲食物販を中心に展開しているが、さらなる連携を検討する。

【評価理由の詳細】

（協働事業）

- ・協働事業は企業等との間で協定締結の上で実施しており、H28年度で11件、H30年度には20件の実績がある。
- ・園内飲食物販については、H31.4から20年間の事業協定を近鉄不動産（株）と締結し一元化した。
- ・R2年1月現在の協定件数は、天王寺MIOのアニマルブーケ販売、動物写真を使ったグッズ制作販売等等、10件である。

（企業からの寄付）

- ・企業からの寄付については、企業応援団（一口5万円）で制度運営しており、寄付企業を園内パネルで紹介している。
- ・企業応援団による寄付収入は増加した。
H28年度 16件19口 95万円
H30年度 35件39口 195万円
R1年度 31件37口 185万円（R2.1月末現在）
- ・継続的に寄付をいただけるような努力をしていく必要がある。

■ 今後の取組方針

【総括】

- ・園内売店を運営する近鉄不動産（株）と連携して、今後様々な協働事業を企画実現していく。
- ・企業寄付金について、より多くの企業に認知してもらえるよう、PR方法について検討していく。

【計画内容】 ①現在の計画を継承し、取り組みを継続する

【達成目標】 ①現在の目標を継承し、取り組みを継続する

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
49	○	管理担当	○
		飼育担当	

■ 計画内容

営業企画の機能を担う体制と担当する職員の能力の強化を図ります

■ 達成目標

営業に注力できる体制整備

■ アクションプラン評価指標

営業担当の業務体制の充実

■ 評価理由

営業を担当する職員を充実させ、広告募集の参加、入園引換券、寄附などの営業活動を実施している。

■ 評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

・さらなる営業活動の充実について検討する必要がある。

【評価理由の詳細】

- ・企業等との協働を進めたり、寄付を受けていくためには、相手企業の開拓を行うとともに、継続的な関係を築いていくための営業活動が重要となる。
- ・H27年度に、営業業務を担当するライン2名（企業等との協働事業、寄付、広告募集を担当）を新たに設置し、営業業務の体制整備を進めてきた。
- ・H30年度からは3名体制（CS業務を兼務）で実施している。
- ・現行の体制では、市職員の人事異動もあり、継続的な営業力をどう維持・継承していくかが大きな課題。

■ 今後の取組方針

【総括】

・企業とのこれまでのつながりを維持しつつ、営業で培ったノウハウを継承していくとともに、独法化を視野に入れつつ、営業担当に必要な業務体制の充実についても検討していく

【計画内容】 ①現在の計画を継承し、取り組みを継続する

【達成目標】 ①現在の目標を継承し、取り組みを継続する

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
50	○	管理担当	○
		飼育担当	

■計画内容

外周柵、動物舎外壁等に屋外広告を導入します

■達成目標

園内広告を導入

■アクションプラン評価指標

園内における広告掲出の実績

■評価理由

H29年に園内広告を導入した

■評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

・成果はあったが、さらなる広告物の掲出検討が必要

【評価理由の詳細】

- ・入園料外収入を確保する方策の一つとして、広告事業は重要である。
- ・動物園やその周辺には多くのお客様が訪れることから、動物園の園内や園の外周柵などを用いて、広告収入を得ることができる可能性があり、これに取り組んできた。
- ・園内の余剰スペースについては、平成29年度より旧トラ舎の鋼板扉に広告枠を8枠設置し広告を募集して、H29年度で約6万円、令和1年度現在で約11万円の広告収入を得ている。
- ・外周柵については、動物園を案内する看板は設置しているが、広告料収入が見込めるものは設置していない。
- ・また、入園料外収入につながるものではないが、一部のエリアにおいては、キッズプロモーション（株）との協定に基づく協働事業として広告付き情報板の運営を行っている。この事業は、同社が企業の広告を誘致し、その資金で園内に広告付きの大型の動物写真や情報パネルを本園の支出なしで設置している。
- ・てんしばゲート前の坂道に2枚、動物園上を通るデッキ下の柱6本で実施。

■今後の取組方針

【総括】

引き続き、園内広告の募集に努め、入園料外収入の増加を図る。

【計画内容】 ①現在の計画を継承し、取り組みを継続する

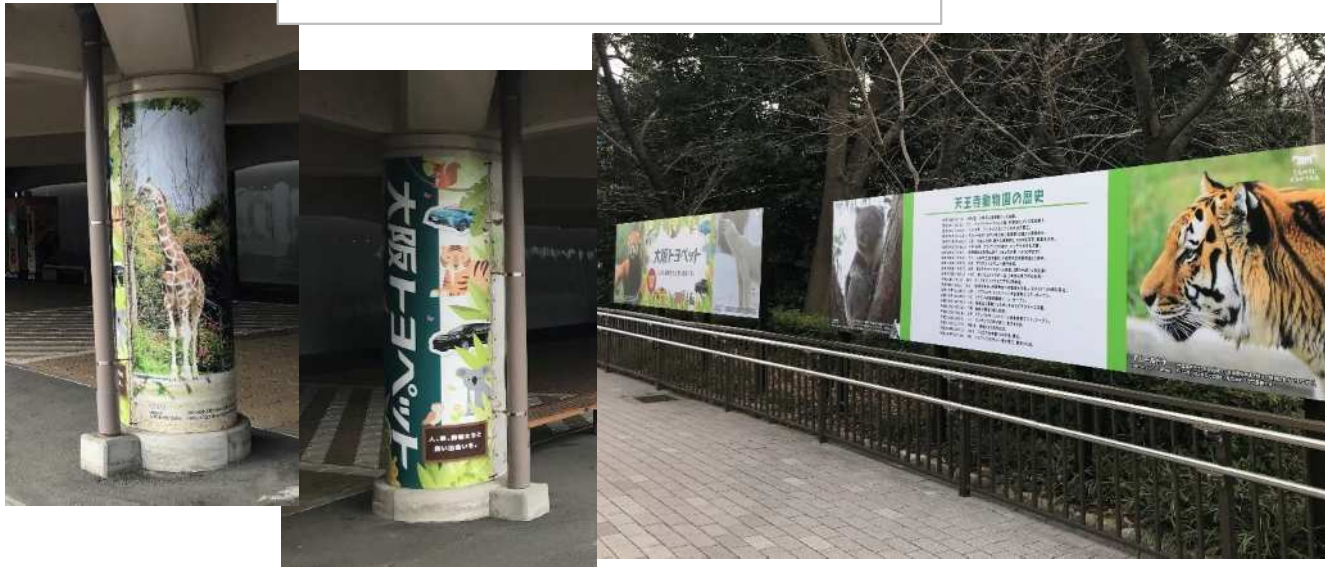
【達成目標】 ①現在の目標を継承し、取り組みを継続する

広告事業・ネーミングライツ事業の例



旧トラ舎前鋼板塀に設置した広告枠

協働事業による広告付大型パネル整備



新世界ゲート前のトイレのネーミングライツ（H29.6～）

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
51	○	管理担当	○
		飼育担当	

■計画内容

施設に対する協賛、ネーミングライツについても検討します

■達成目標

協賛企業の新規開拓
ネーミングライツの検討

■アクションプラン評価指標

ネーミングライツ等の実績

■評価理由

新世界ゲート前のトイレにネーミングライツを導入した

■評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

・ネーミングライツを実施したが、継続することや新規案件を開拓することが必要

【評価理由の詳細】

・企業協賛を継続的に受ける手法としてネーミングライツの取組が、様々な地方自治体で進められている。

・天王寺動物園の新世界側ゲート外にあるトイレは新世界に面しており、人通りの多い場所であることから、このトイレのネーミングライツのパートナー企業の公募をH29年3月から開始し、提案を踏まえて7月にパートナー企業を決定した。
トイレのネーミングライツとしては、大阪市としては初事例であった。

・提案に基づき、パートナー企業の有する技術である防臭防汚コーティングを、トイレに施すとともに、定期点検や配管の定期清掃などもパートナー企業に実施してもらえるようになった。

【ネーミングライツ導入実績】

導入施設：新世界ゲート トイレ

企業：管清工業株式会社（かんせいこうぎょう）

名称：KANSEI TENNOJI ZOO TOILET（H29.6.21～R2.6.20 3年契約）

契約金額：350,000円/年

その他：トイレ建物全体の洗浄、「Dコート」による防臭・防汚対策工事

トイレの定期点検（週1回）

配水管の清掃（年3回）

■今後の取組方針

【総括】

引き続き、ネーミングライツの導入可能な施設について検討し、入園料外収入の増加や経費節減を図る。

【計画内容】 ② 下記のとおり、内容を一部修正のうえ、取り組みを継続する

施設に対する協賛、ネーミングライツを行う

【達成目標】 ② 下記のとおり、内容を一部修正のうえ、取り組みを継続する

協賛企業の新規開拓とネーミングライツの継続実施

《アクションプラン項目》

(テーマ)

経営改善・改革

[収支改善]

No.76、77

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
76	○	管理担当	○
		飼育担当	

■計画内容

現存施設の光熱水費の削減を図ります

■達成目標

まずは10%の削減を行う

■アクションプラン評価指標

光熱水費の削減実績

■評価理由

アクションプラン策定以前のH27年度実績と比較して、H30年度時点で年間10%以上の削減がなされている

■評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

・削減が進んでいるが、引き続き取り組んでいく必要がある。

【評価理由の詳細】

・他の公立動物園と比較した際に当園の光熱水費が顕著に高額となっていた。特に水道代が高い比率を占めており、この削減が大きな課題となっていた。

・水道代の削減に関しては、獣舎への水道メーターの設置を進め、漏水箇所の早期発見と対応に努めてきた。

・カバ舎と爬虫類生態館（アイファー）については、H29年度よりESCO事業を導入した。

※ESCO事業とは、省エネルギー改修にかかる全ての経費（建設費、事業者の経費など）を光熱水費の削減分で賄う事業

・これらの取組の結果、光熱水費のH30年度実績は、H27年度比で電気代19.5%減、ガス代41.2%減、水道代40.6%減となった。（金額は別紙）

■今後の取組方針

【総括】

・老朽化が進行している水道管の漏水を発見・防止するなどして、引き続き削減に努めていく。

【計画内容】 ①現在の計画を継承し、取り組みを継続する

【達成目標】 ②下記のとおり、内容を一部修正のうえ、取り組みを継続する

さらなる削減を目指し取り組んでいく

光熱水費の削減実績

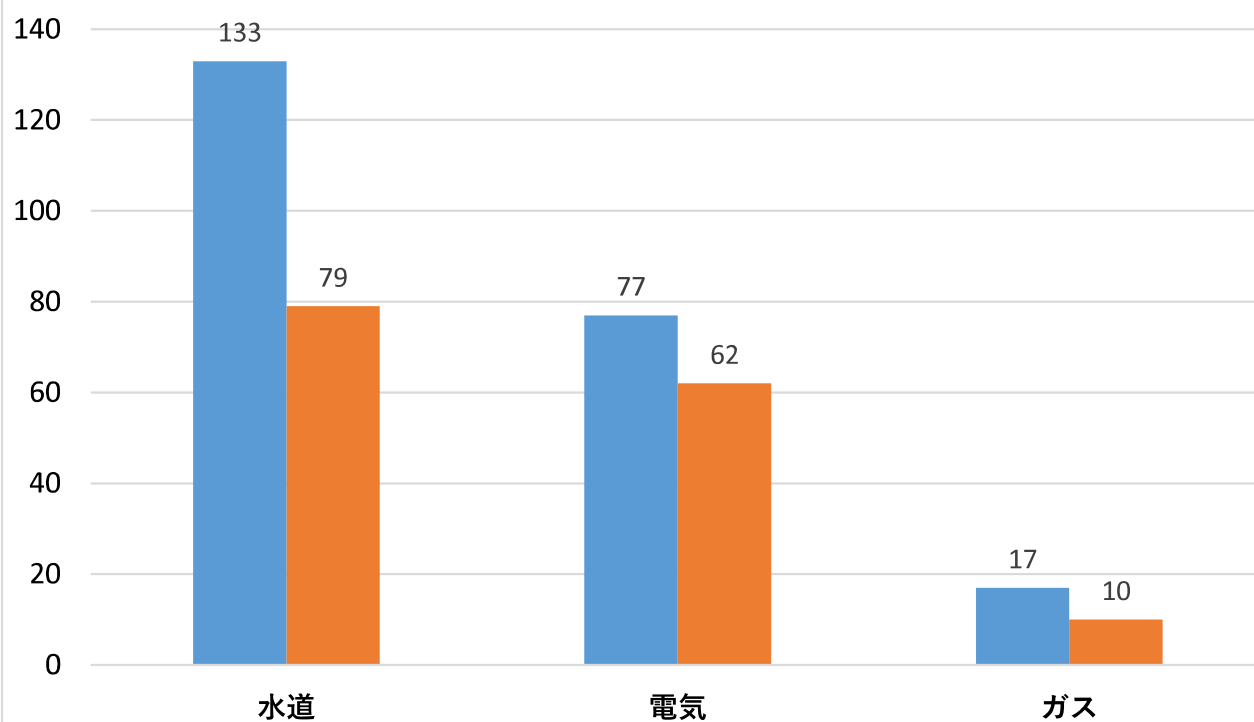
(単位：百万円)

	水道	電気	ガス	光熱水費 計
H 2 7	133	77	17	227
H 3 0	79	62	10	151
削減額 (H30－H27)	▲ 54	▲ 15	▲ 7	▲ 76
削減率 (H27比)	40.6%	19.5%	41.2%	33.5%

光熱水費各種実績比較

(単位：百万円)

■ H 2 7 ■ H 3 0



天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
77	△	管理担当	○
		飼育担当	

■ 計画内容

将来的な値上げの検討や、有料入園者の対象範囲の拡大について検討します

■ 達成目標

サービス向上に合わせた料金改定について検討

■ アクションプラン評価指標

入園料値上げの検討実績

■ 評価理由

これまで検討を行ってきたが内部的なものに留まっている。

■ 評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

・内部的な議論に留まっている状況である。

【評価理由の詳細】

・議論にあたっては、サービス向上との関係を整理する必要がある。

■ 今後の取組方針

【総括】

・引き続き検討を行っていく。

【計画内容】 ①現在の計画を継承し、取り組みを継続する

【達成目標】 ①現在の目標を継承し、取り組みを継続する

《アクションプラン項目》

(テーマ)

経営改善・改革

[業務運営全般の見直し]

No.33、75、78

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
33	○	改革担当	○

■ 計画内容

来園者と接する時間を生み出せるよう仕事内容の棚卸を実施します

■ 達成目標

新たな業務実施体制を構築する

■ アクションプラン評価指標

新たな業務実施体制の構築

■ 評価理由

飼育業務の分析・整理を実施するとともに、H31年度から動物専門員(動物の専門知識・実務経験を有し、指導を行うことで、飼育職員全体のスキルアップすることが目的)を採用を行った。

■ 評価理由の詳細 (アクションプラン策定以降の取組実績)

【現状分析】

・飼育業務の分析・整理や、新たな職種の採用など、適宜、棚卸しを実施している。

【評価理由の詳細】

・飼育業務について整理を行った (H30年度)

高度化する飼育業務へ対応するため、動物福祉、飼育動物にかかる情報発信、社会教育にかかる業務を強化した。

・動物専門員の採用を行った (H31年度)

上記業務の推進を図る観点から、大学等で専門知識を取得し、かつ他園での実務経験を有する者を、令和元年に 動物専門員として3名を新規に採用した。

今後はこの3人がリーダー的役割を果たし、飼育員全員のスキルアップに取り組む。

■ 今後の取組方針

引き続き、独法化の検討を進めていくなかで、動物園に必要な機能を踏まえた業務実施体制を検討していく

【計画内容】 ①現在の計画を継承し、取り組みを継続する

【達成目標】 ②下記のとおり、内容を一部修正のうえ、取り組みを継続する

独法化の検討にあわせて検討を行う

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
75	△	改革担当	○

■ 計画内容

外部委託範囲の見直しなど、望ましい運営形態についての検討を行います

■ 達成目標

外部委託範囲の見直しなど、望ましい運営形態について整理し、移行する

■ アクションプラン評価指標

運営体制の検討実績

■ 評価理由

現在、地方独立行政法人化に向け、運営体制の検討を進めている

■ 評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

・地方独立行政法人化に向けて、運営体制を検討している。

【評価理由の詳細】

・R 1 年 1 月 29 日の戦略会議において、R 3 年 4 月の法人設立を目指し、地方独立行政法人化することとなった。

・今後外部委託の範囲などについては、独法化の運営体制の中で、検討を行っていく。

■ 今後の取組方針

【総括】

引き続き、独法の制度設計や組織体制等の検討を進めていくなかで、外部委託すべき範囲の検討を行っていく

【計画内容】 ①現在の計画を継承し、取り組みを継続する

【達成目標】 ②下記のとおり、内容を一部修正のうえ、取り組みを継続する

独法化の検討にあわせて検討を行う

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
78	○	改革担当	○

■ 計画内容

動物園運営にふさわしい経営形態について検討を進めます

■ 達成目標

自由度の高い経営形態への移行検討

■ アクションプラン評価指標

動物園の経営形態の検討実績

■ 評価理由

天王寺動物園経営形態懇談会における議論を経て検討を行い、令和元年1月の戦略会議において、令和3年4月に地方独立行政法人化を目指すこととなった。

■ 評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

・R3年4月の地方独立行政法人への移行に向けた準備を進めている。

【評価理由の詳細】

・H28～30年度に、天王寺動物園経営形態検討懇談会を開催し、外部有識者から意見を聴取した結果、「地方独立行政法人化が望ましい」との意見をいただいた。

・H31年度に、改めて持続可能な動物園運営を行うにあたって望ましい経営形態を検討した結果、「地方独立行政法人」が最もふさわしい経営形態であると判断。

・令和元年1月の戦略会議において、令和3年4月に地方独立行政法人化を目指すこととなった。

・今後、市会へ独立行政法人制度にかかる関連議案（定款、評価委員会条例）について提案を行い、議論を行っていく。

■ 今後の取組方針

【総括】

地方独立行政法人化に向けた準備を進めていく

【計画内容】 ② 下記のとおり、内容を一部修正のうえ、取り組みを継続する

地方独立行政法人化に向けた準備を行う

【達成目標】 ② 下記のとおり、内容を一部修正のうえ、取り組みを継続する

法人への円滑な移行

《アクションプラン項目》

(テーマ)

経営改善・改革

[評価]

No.79、80

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
79	○	改革担当	○

■ 計画内容

計画の進捗状況についてお客様目線でのご意見や改善提案をお受けできる仕組みを設けます

■ 達成目標

計画の進捗管理や意見を受けることのできる仕組みを設ける

■ アクションプラン評価指標

アクションプラン評価会議の開催

■ 評価理由

行政内部として計画の進捗管理を行うとともに、アクションプラン評価会議を開催し、外部有識者からご意見等をいただいた

■ 評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

・101計画のアクションプランの評価会議を開催中。

【評価理由の詳細】

・101計画を絵に描いた餅にしないため、評価を行うことが重要であり、その評価は内部だけで実施するのではなく、外部の有識者によるチェックが行われることが必要。

・アクションプランの進捗状況については、R1年度上半期に、当園内部での評価会議を実施して自己評価を実施して評価指標案を設定した。

・これを踏まえて、天王寺動物園101計画アクションプラン評価会議（外部委員）を開催し、ご意見をいただき、計画進捗の評価を受けているところ。今後は、有識者の意見を踏まえ、アクションプランの改定を行うとともに、独立行政法人の経営計画等にも反映させていく。

■ 今後の取組方針

【総括】

・評価会議の内容を踏まえ、アクションプランを改定するとともに、地方独立行政法人の経営計画等にも反映させていく。

【計画内容】 ①現在の計画を継承し、取り組みを継続する

【達成目標】 ②下記のとおり、内容を一部修正のうえ、取り組みを継続する

独法化の検討にあわせて検討を行う

天王寺動物園基本計画アクションプランシート

No	評価	担当	
80	△	改革担当	○

■ 計画内容

評価指標を開発します

■ 達成目標

101計画の進捗が把握できる新たな指標の設定

■ アクションプラン評価指標

アクションプランの評価指標の設定

■ 評価理由

内部会議で設定した案をもとに、外部の評価会議におけるご意見を踏まえ設定することとしている。

■ 評価理由の詳細（アクションプラン策定以降の取組実績）

【現状分析】

・評価指標はアクションプランの外部評価にあたってある程度設定はしているが、安定した指標として利用できるまでの開発は進んでいない。

【評価理由の詳細】

・指標はまだ開発途上。

■ 今後の取組方針

【総括】

評価会議での議論を踏まえ、評価指標の開発を進める。

【計画内容】 ①現在の計画を継承し、取り組みを継続する

【達成目標】 ②下記のとおり、内容を一部修正のうえ、取り組みを継続する

独法化の検討にあわせて検討を行う